

平成28年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業報告

1 報告【概要】

少子・高齢化の進行や子どもに対する虐待、家庭環境の変容や社会的孤立、生活困窮者の増加など福祉ニーズは多様化・複雑化し、地域の新たな生活課題や福祉課題への対応が急務となっています。

また、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という。）や介護保険法の改正、さらには社会福祉法人制度の見直しが行われ、地域での支えあいが明確に打ち出されるなど、地域福祉を取り巻く状況が大きく変化しました。

東日本大震災から5年が経過し、国の被災者支援も前期の集中復興期間から後期の復興・創生期間へと移行し、本市域においては、水産加工団地の完成、魚市場や災害公営住宅の建設、防災集団移転事業による住宅の建設等生活基盤・産業基盤の再生、そして三陸道の北進など、地域再生への動きが日増しに実感できる状況にあります。

しかしながら、未だ、多くの方々が応急仮設住宅等に入居されており、心のケア、見守り、コミュニティ構築支援など被災者の生活再建への支援が求められています。

また、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう多様な組織による地域包括ケア推進協議会でのアクションプランが進められています。

このような状況にあって、本社協は地域福祉を推進する中核的な役割を担う民間福祉団体として「誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会の実現」のため、「地域福祉の推進」「介護・福祉活動の拠点の整備・活用」「人材確保・育成」「組織管理体制の強化」「福祉サービス提供における安心・安全の確保」「各地域における福祉サービスの強化」を重点目標とし、また、「気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画」の推進に当たり、気仙沼市はじめ、地区社協、福祉関係諸団体、ボランティア、NPO等幅広い関係者との連携・協働の下、地域福祉の推進に努めました。

2 重点目標

（1）地域福祉の推進

地域福祉活動計画の推進に当たり、気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会や気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を開催し、取り組みの進捗状況の評価、見直しを行いました。また、地区社協ごとに住民懇談会を開催し、具体的な地域福祉活動に向けた話し合いを行うとともに、小地域福祉ネットワーク活動への理解・促進に努めました。

また、ボランティアセンター、サポートセンター、高齢者相談室等との連携の下、東日本大震災被災者支援とともに、地域コミュニティ再構築のため、地域行事への協力や見守り、ミニデイスサービスへの支援を行いました。生活相談所、民生委員・児童委員、日本司法支援センター（法テラス）、宮城被災者支援サポート弁護士等との連携の下、相談支援体制の強化を図り様々な相談に応じ、また、宮城県社協、民生委員・児童委員との連携による資金の貸付やコープフードバンクとの協定に基づく食料品の提供を通じ、生活困窮者への支援を行いました。

(2) 介護・福祉活動の拠点の整備・活用

各事業所における事故防止のため、定例の「事故防止対策委員会」を開催し、ケース研究や情報の共有を図るとともに、気仙沼保健福祉事務所等の協力により、「ノロウイルスをはじめとする感染症の予防と嘔吐物の処理について」基礎知識の習得と嘔吐物の処置方法について実技指導をいただき事故防止に努めました。

また、市から無償譲渡による旧本吉老人福祉センターの敷地内の木造倉庫の解体とともに、機械室の既存ボイラー設備等を撤去し、駐車場敷地の整備を行いました。今後は、自主財源を確保しながら、旧本吉老人福祉センターの改修工事を行い、介護保険事業や包括支援業務等を集約するなど整備を進めてまいります。

また、指定管理施設については、利用者の安心・安全のための改善や改修について、市に申し入れを行いました。

(3) 人材確保・育成

福祉人材の確保が依然と厳しい状況が続いていることから、嘱託職員の処遇改善を図るとともに、ハローワーク等を通じ、必要な人材の確保に努めました。

また、職員が各事業の専門的研修に参加し知識や技術を習得し、良質なサービス提供に努めました。なお、気仙沼圏域介護人材確保協議会へ参加し、本圏域においての人材確保について、意見交換を重ねています。

(4) 組織管理体制の強化

法人運営に当たっては、各種補助金、会費収入、寄付金等の自主的な財源の確保が厳しく、不足財源を介護保険事業収入に頼らざるを得ない状況にあります。介護保険事業や障がい者支援事業は、利用契約に基づくサービス提供であり、法令を遵守し、良質なサービス提供が求められることから、研修計画に基づく各種研修会に参加するとともに、知識や技術の習得と定例の事故防止対策委員会を開催し、ケース研究や情報の共有を図り事故防止に努め、良質なサービス提供により利用者の満足度の高いサービスの提供に努めました。

(5) 福祉サービス提供における「安心・安全」の確保

地域福祉活動計画に基づき、地域住民がより安心・安全な暮らしが送れるように、支援を必要とする人を地域で支え合う小地域福祉ネットワーク事業の更なる推進のため、地区社協ごとに住民懇談会開催しました。

また、孤立化や生活不活発病の予防のため、お茶飲み会や健康体操の実施など地域住民や災害公営住宅及び仮設住宅入居者等が安心した暮らしが送れるよう支援しました。今後も地域福祉活動計画に基づき、地域懇談会等を通じ課題の把握と問題解決のため、福祉サービス提供における「安全・安心」の確保に努めます。

(6) 各地域における福祉サービスの強化

地域の特性を考慮しながら、地域福祉活動計画に基づき、地区社協はじめ、関係機関、団体と連携の下、地域福祉推進フォーラムや福祉まつりの開催等、住民参加による事業の推進に努めま

した。

しかし、地域福祉の推進には多くの方々の理解と協力が必要であり、目に見えて直ぐに効果が表れるものではありませんが、今後も地域特性を生かしながら、地域福祉の充実に努めます。

また、気仙沼市はじめ福祉団体、ボランティア、NPO、企業の皆様方のご理解とご協力をいただき、住民参加による地域福祉を支える組織基盤と福祉サービスの充実のため、地域に根付いた福祉活動を基盤とし更なる充実を目指して進めてきましたが、本会が実施いたします地域福祉活動には、多くの皆様方からの会費や善意による寄付金等を主な財源としていることから、法令遵守はもとより地域福祉を推進する団体であることの意義を再確認し、地域の実情に応じた「わがまちならでは」の取り組みを進めてまいります。

以下、平成28年度の事業について、報告します。

1. 法人運営事業

事業名	内 容
理事会の開催	【概要】地域福祉の担い手としてふさわしい事業を進めるため、理事会、評議員会を中心として事業を推進しました。 ①平成28年5月25日（水）午後1時30分 出席者 理事13名（内、書面表決1名）【現員数16名】 監事3名 1 補欠評議員の選任について【同意】 2 補助金交付規程制定について【同意】 3 小地域福祉活動推進規程制定について【同意】 4 小地域福祉活動推進会議設置規程について【同意】 5 小地域福祉活動補助金交付規程制定について【同意】 6 平成27年度事業報告及び決算について【認定】 7 平成28年度資金収支補正予算（案）について【同意】 ②平成28年10月19日（水）午後1時30分 出席者 理事16名（内、書面表決2名）【現員数16名】 監事1名 1 補欠評議員の選任同意について【同意】 2 災害時における相互応援に関する協定の締結について【同意】 3 気仙沼市北部地域包括支援センター事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 4 気仙沼市南部地域包括支援センター事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 5 指定障害児通所支援事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 6 職員就業規則の一部を改正する規程制定について【同意】 7 嘱託職員就業規則の一部を改正する規程制定について【同意】

	③平成 28 年 12 月 26 日（月）午後 1 時 30 分 出席者 理事 14 名（内、書面表決 2 名）【現員数 16 名】 欠席 2 名 監事 1 名 1 定款の全部変更について【同意】 2 評議員選任・解任委員会規程の制定について【同意】 3 評議員選任・解任委員会委員の選任同意について【同意】 4 評議員選任・解任委員会に提案する「次期評議員候補者」の選任同意について 5 育児休業及び介護休業等に関する規程の全部を改正する規程制定に【同意】 6 平成 28 年度資金収支補正予算（案）について【同意】 ④平成 29 年 2 月 15 日（水）午後 1 時 30 分 出席者 理事 15 名（内、書面表決 4 名）【現員数 16 名】 監事 2 名 1 平成 29 年度事業計画策定方針（案）及び予算編成方針（案）について【同意】 2 評議員選任・解任委員会に提案する「次期評議員候補者」の選任同意について【同意】 ⑤平成 29 年 3 月 23 日（木）午後 1 時 30 分 出席者 理事 16 名（内、書面表決 3 名）【現員数 16 名】 監事 2 名 1 経理規程の一部を改正する規程制定について【同意】 2 指定障害児通所支援事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 3 職員就業規則の一部を改正する規程制定について【同意】 4 嘱託職員等就業規則の一部を改正する規程制定について【同意】 5 訪問介護ステーションからくわ指定居宅介護事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 6 平成 28 年度資金収支補正予算（案）について【同意】 7 平成 29 年度事業計画（案）について【同意】 8 平成 29 年度資金収支予算（案）について【同意】 【成果】5 回の理事会を開催し、社協の運営に係る審議を行い、法人の健全経営や地域福祉事業を効果的に推進することができました。また、社会福祉法の改正により、定款の変更や評議員選任・解任委員会規程の制定及び委員の選任同意並びに評議員選任・解任委員会に提案する「次期評議員候補者」の選任同意をいただき、体制の整備を図りました。
評議員会の開催	【概要】地域福祉の担い手としてふさわしい事業を進めるため、評議員会を中心として事業の推進を図りました。 ①平成 28 年 5 月 30 日（月）午後 1 時 30 分 出席者 評議員 23 名【現員数 32 名】 理事 4 名 監事 2 名 議事 1 平成 27 年度事業報告及び収支決算について【承認】 2 平成 28 年度資金収支補正予算（案）について【議決】

	②平成 28 年 10 月 26 日（水）午後 1 時 30 分 出席者 評議員 23 名【現員数 32 名】 理事 4 名 1 災害時における相互応援に関する協定の締結について【承認】
	③平成 29 年 1 月 11 日（水）午後 1 時 30 分 出席者 評議員 23 名【現員数 32 名】 理事 3 名 1 定款の全部変更について【議決】 2 平成 28 年度資金収支補正予算（案）について【議決】
	④平成 29 年 3 月 29 日（水）午後 1 時 30 分 出席者 評議員 20 名【現員数 29 名】 理事 4 名 1 平成 28 年度資金収支補正予算（案）について【議決】 2 平成 29 年度事業計画（案）について【議決】 3 平成 29 年度資金集予算（案）について【議決】 【成果】4 回の評議員会を開催し、社協全体の事業に係る審議を行い法人の健全経営や地域福祉事業を効果的に推進することができました。また、社会福祉法の改正による定款変更等を行い、体制の整備を図りました。
監査会の開催	【概要】理事の業務執行状況及び法人の財産の状況について監査会を実施しました。 ①平成 28 年 5 月 18 日（水）、19 日（木） 午前 10 時 1 平成 27 年度理事の業務執行状況及び事業並びに決算監査について
	②平成 28 年 11 月 24 日（木）、25 日（金） 午前 10 時 1 平成 26 年度上半期理事の業務執行状況及び事業並びに中間監査について 【成果】理事の業務執行の状況及び法人の財産等の状況についての監査において、事業の健全経営を図ることができました。
評議員選任・解任委員会の開催	【概要】社会福祉法の改正により定款第 7 条に規定された、評議員の選任・解任委員会における評議員の選任手続きを行いました。 ①平成 29 年 3 月 14 日（火） 午後 1 時 30 分 1 次期評議員候補者の選任について 次のとおり選任 1 号評議員 23 名、 2 号評議員 3 名、 3 号評議員 5 名

【1】会員数〈会費〉

一般会費	16,044 世帯	4,813,200 円（前年比 105.78%）
賛助会費	2,507 世帯	2,551,000 円（前年比 100.90%）
特別賛助会費	43 法人・7 個人	465,000 円（前年比 100%）
団体会費	14 団体	42,000 円（前年比 100%）

【2】役員・評議員

理 事	16 名	平成 28 年 3 月 31 日現在
監 事	3 名	〃
評議員	31 名	〃（欠員 2 名）

平成28年度 会費納入及び助成金交付状況

平成29年3月末現在 (単位：円)

地区社協	納 入			交 付				
	一般会費	賛助会費	特別賛助会費	合 計	活 動 費 助 成			合 計
					一般会費	賛助会費	特別賛助会費	
西	600,000 2,000	343,000 335	20,000 2	963,000	200,000	102,900	4,000	306,900
上	415,800 1,386	556,000 550	90,000 12	1,061,800	138,600	166,800	18,000	323,400
中央	105,000 350	0 0	0 0	105,000	35,000	0	0	35,000
魚町	79,500 265	72,000 68	0 0	151,500	26,500	21,600	0	48,100
南町・柏崎	33,000 110	45,000 45	70,000 7	148,000	11,000	13,500	14,000	38,500
南	82,800 276	25,000 21	0 0	107,800	27,600	7,500	0	35,100
鹿折	180,000 600	181,000 173	40,000 4	401,000	60,000	54,300	8,000	122,300
松岩	615,600 2,052	531,000 527	60,000 6	1,206,600	205,200	159,300	12,000	376,500
新月	405,000 1,350	428,000 424	90,000 9	923,000	135,000	128,400	18,000	281,400
階上	234,000 780	0 0	0 0	234,000	78,000	0	0	78,000
大島	269,100 897	134,000 132	40,000 4	443,100	89,700	40,200	8,000	137,900
面瀬	360,000 1,200	217,000 216	50,000 5	627,000	120,000	65,100	10,000	195,100
唐桑	569,400 1,898	19,000 16	5,000 1	593,400	189,800	5,700	1,000	196,500
小泉	120,300 401	0 0	0 0	120,300	40,100	0	0	40,100
津谷	448,200 1,494	0 0	0 0	448,200	149,400	0	0	149,400
大谷	295,500 985	0 0	0 0	295,500	98,500	0	0	98,500
合計	4,813,200 16,044	2,551,000 2,507	465,000 43法人7個人	7,829,200	1,604,400	765,300	93,000	2,462,700
								332,700
								46,600
								2,842,000

※下段は加入者数
※団体会員 14団体 42,000円

2. 地域福祉事業

事業名	内 容
地区社協会長会議の開催	【概要】住民参加による地域福祉活動の推進を図るため、会長会議を開催し、情報交換等を行いました。 ① 平成 28 年 6 月 22 日（水） 1 平成 28 年度会費の取りまとめ方について 2 小地域福祉活動連絡会議の設置について 3 地区社協活動（地域福祉活動）支援の取り組みについて 4 地域福祉活動推進者育成研修について ② 平成 28 年 10 月 19 日（水） 1 平成 28 年度赤い羽根共同募金実績について 2 地区福祉団体役員研修について 3 介護予防・日常生活支援総合事業における生活支援コーディネーター・協議体のあり方について 【成果】地域福祉活動計画の推進に向け、小地域福祉活動連絡会議の設置や地域福祉活動支援の補助金交付事業、さらに階層別研修についての周知と地域福祉活動推進に向けた具体的活動の共有をすることができました。また、地区社協間の情報交換や情報提供を行い、相互の活動状況把握ができました。
ふれあいのまちづくり事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
地域福祉活動計画の推進	【概要】第 2 期地域福祉活動計画を進めるに当たって地域住民が地域福祉活動に主体的に参画し地域を創っていく、福祉のまちづくりを推進しました。 【実績】 地域福祉活動計画推進連絡会議の開催（3 回） 地区住民懇談会の開催（10 地区社協） 地域福祉活動計画推進委員会の開催（3 回） 地域福祉活動計画推進委員会部会開催（各 1 回） 【成果】地域福祉活動推進連絡会議では、評価シートを作成して地域福祉活動計画推進委員会に提出し意見・要望をいただくなど、進行管理が確認されました。また、地区住民懇談会開催を 7 月～11 月の期間で開催しました。懇談会は「小地域福祉活動」の説明を行うとともに、地域課題の共有や話し合いの場となり、3 年目を迎える今年度は、高齢者交流サロンの発表やワークショップ形式での意見交換など、地区社協独自の工夫もみられ、参加者がより身近な自分事として小地域福祉活動を考える場となりました。 地域福祉コーディネーターの配置に向けては、気仙沼市と協継続議しています。

ふれあいのまちづくり事業 サービス区分より支出	【課題】 6 地区社協で懇談会を開催できませんでした。 また計画通りに遂行できない事業がありました。 【今後の取組】 推進連絡会議及び推進委員会を適時に開催し、適切な事業遂行に努めます。また、職員がより積極的に地域に出向き地域課題の把握とその解決に向けて住民と共に考える取組みを進めます。 【決算】 事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
地域福祉活動推進者育成研修	【概要】 住民主体の見守りによるまちづくりの実践を学ぶとともに、小地域福祉活動の在り方を再認識しながら、今後の地区活動の方向性を探る場として開催しました。 【実績】 ① 地区福祉団体役員（正副会長対象）研修 9 月 20 日 参加者 67 名 ② 地区福祉団体中堅役員研修 11 月 23 日 参加者 53 名 講師はいずれも 滋賀県高島市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 井岡仁志氏 【成果】 「地域でのつながりづくりを考える」をテーマに両研修とも同じ講師で実施したことにより、多くの地域役員が共通認識を持つことができました。なお、研修内のワークの意見をまとめ、地区住民懇談会での話題にするなど、研修を一連の取組みに位置づけ地域への話題提供ができました。 参加者からは実践者である講師であり、またワーク下の有意義な意見交換ができたと好評でした。 【課題】 研修時間に余裕をもつ必要がありました。 【今後の取組み】 地区毎のワークの結果を、地区社協の事業に反映できるよう地区と協議を進めていきます。また、今回のアンケート結果を基に、次年度の研修も計画的に進めます。 【決算】 事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
ふれあいのまちづくり事業 サービス区分より支出	【概要】 地域の援護を必要とする方々に対し、身近な住民等ができることで支援していく活動の具体的・実践的な推進を図るため、小地域福祉活動推進会議を設置しました。また、地域での活動推進に当たり補助金の交付など、活動の拡がり体制整備を図りました。 【実績】 多様な小地域福祉活動の促進に向け、小地域福祉ネットワーク活動推進会議を改組し、小地域福祉活動推進会議を設置（8 月 18 日）しました。また、活動費補助金についても、同様に各種小地域福祉活動のサポートができるよう交付規程を新たに制定しました。 小地域福祉ネットワーク活動推進会議開催（1 回）

【課題】 6 地区社協で懇談会を開催できませんでした。

【今後の取組】推進連絡会議及び推進委員会を適時に開催し、適切な事業遂行に努めます。また、職員がより積極的に地域に出向き地域課題の把握とその解決に向けて住民と共に考える取組みを進めます。

当期資金収支差額 0 円

【概要】住民主体の見守りによるまちづくりの実践を学ぶとともに、小地域福祉活動の在り方を再認識しながら、今後の地区活動の方向性を探る場として開催しました。

- ① 地区福祉団体役員（正副会長対象）研修 9月20日 参加者67名
② 地区福祉団体中堅役員研修 11月23日 参加者53名
講師はいずれも 滋賀県高島市社会福祉協議会

【成果】「地域でのつながりづくりを考える」をテーマに両研修とも同じ講師で実施したことにより、多くの地域役員が共通認識を持つことができました。なお、研修内のワークの意見をまとめ、地区住民懇談会での話題にするなど、研修を一連の取組みに位置づけ地域への話題提供ができました。

【課題】 研修時間に余裕をもつ必要がありました。

ふれあいのまちづくり事業
サービス区分より支出

【決算】事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円
その他の収入 2,174,700 円

当期資金収支差額 0 円

【概要】地域の援護を必要とする方々に対し、身近な住民等ができることで支援していく活動の具体的・実践的な推進を図るため、小地域福祉活動推進会議を設置しました。また、地域での活動推進に当たり補助金の交付など、活動の広がり体制整備を図りました。

【実績】多様な小地域福祉活動の促進に向け、小地域福祉ネットワーク活動推進会議を改組し、小地域福祉活動推進会議を設置（8月18日）しました。また、活動費補助金についても、同様に各種小地域福祉活動のサポートができるよう交付規程を新たに制定しました。

小地域福祉ネットワーク活動推進会議開催（１回）

ふれあいのまちづくり事業 サービス区分より支出	小地域福祉活動推進会議の設置と開催（２回） 小地域福祉活動補助金については、２地区社協に交付し啓発活動と体制整備を進めました。また、地区住民懇談会では「小地域福祉活動」の説明を行いました。 【成果】本会において新たに小地域福祉活動推進会議を設置したことにより、新たに活動費補助規程制定や啓発パンフレットの作成などご意見をいただき、小地域福祉活動を重点的に推進するための体制が整備されつつあります。 地域福祉推進フォーラムは１地区のみの開催となりましたが、身近なテーマを絞った実践発表を行うことにより、活発な意見交換ができました。 【課題】小地域福祉活動推進会議が計画通り開催できませんでした。 また、新たに活動費補助規程を制定しましたが、地区社協に対し説明不足で申請が２地区社協のみでした。 なお、地域福祉推進フォーラムも計画どおり開催できませんでした。 【今後の取組】引き続き小地域福祉活動推進会議において、今後の具体的展開や方策について検討を進めます。また、啓発パンフレットが完成したことにより、様々な場面を捉えての周知をしながら、住民の理解促進と参画できる環境づくりに努めます また、地域福祉推進フォーラムを計画的に開催し、地域の福祉力を高めます。 【決算】事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
生活相談所の運営	【概要】住民の生活上の心配ごとや悩みごとの相談に対応するため、社協本所相談室にて週４日（月曜日、火曜日、水曜日、金曜日）午前９時から午後３時まで生活相談所を開設しました。本吉地域では、毎週月曜日午前９時３０分から午前１１時３０分まで生活相談所を開設しました。 また、本吉地域では、第２、３月曜日に自立相談支援事業所「ひありんく気仙沼」と合同の生活相談を実施しました。このほか、専門相談として宮城県サポートセンター支援事務所の協力の下、弁護士による法律相談を４回実施し、幅広い相談に対応しました。 【件数】一般相談 気仙沼地域：相談件数３５件 本吉地域：相談件数１４件 専門相談 法律相談：相談件数１３件 【開設日】気仙沼地域： １７３日 本吉地域：４５日 【成果】相談の内容に応じて、傾聴や他機関への紹介、助言等を行い、相談窓口業務としての一定の役割を果たしました。また、弁護士相談を

福祉育成援助活動 サービス区分より支出	考え理解を深める機会となりました。 【課題】例年の課題であった企画運営への住民の関わりは、当日の運営面で積極的な動きがありました。福祉を身近に感じてもらえる場として子供むけの企画は大盛況でしたが、大人向けの企画は展示パネル含めて啓発への工夫が必要となりました。 【今後の取組】福祉教育の一環である福祉まつりは、多くの世代を取り込んで人と人をつなぎながら地域福祉を考える機会となるよう、今後も企画の工夫と充実を図ります。また、次年度に向けた企画のヒントを日々の社協活動の中で見出しながら、福祉まつりだけでの取り組みとならないよう強く意識して計画的に実施します。 【決算】事業活動収入 1,517,067 円 事業活動支出 2,864,656 円 当期資金収支差額 -1,347,589 円 (前期末支払資金残高から充当)
本吉地域ひまわり会交流事業 老人福祉活動事業 サービス区分より支出	【概要】ひとり暮らしの高齢者の孤独感解消と相互交流の場を提供することを目的にボランティア団体等の協力を得て実施しました。 【実績】 7月22日(金)参加者25人 協力ボランティア1団体 11月 9日(水)参加者20人 協力ボランティア1団体 12月27日(火)参加者29人 協力ボランティア1団体 1月27日(金)参加者31人 協力ボランティア1団体 3月 7日(火)参加者33人 協力ボランティア1団体 【成果】今年度より会場を本吉地域内の公民館持ち回り開催で計画し、大谷公民館では大谷学童保育と、小泉公民館では小泉幼稚園と、これまでと違う地域の子供達との世代間交流も行うことができ、会場の特色を活かし気軽に参加できる事業展開を心がけました。 【課題】会場持ち回りで実施しましたが、地域行事や他の社協事業との調整が不十分であったことから実施日が重複してしまい、会場がある地元の方々の参加へは繋がらない状況がありました。 【今後の取組】会場持ち回りを継続し、日程調整に配慮し、多くの参加が得られるよう計画的に実施します。 【決算】事業活動収入 816,200 円 事業活動支出 888,736 円 当期資金収支差額 -72,536 円 (前期末支払資金残高から充当)
善意銀行の運営	【概要】市民からの多様な善意の預託を受け、その善意を効果的に地域生活支援及び住民参加による地域福祉の増進に資するよう効果的な活用に努めました。 【実績】預託 金銭47件 2,058,698円 物品 7件(ゴミ袋、タオル、おしぼり、リハビリパンツ、米等) 払出 金銭94件 2,018,698円

	物品 5件（タオル、おしぼり、米等） 【成果】寄付者の意向に沿い、地域の団体等への効果的な払い出しができました。 【課題】払出団体が来所することが困難など、速やかな払い出しができない場合があります。 【今後の取組】寄付者の意向が払出団体へ十分伝わるよう努めます。 【決算】事業活動収入 2,058,756 円 事業活動支出 2,062,097 円 その他の活動による収入 2,624 円 その他の活動支出 374,000 円 当期資金収支差額 -374,717 円 （前期末支払資金残高から充当）
地区社協活動費助成事業 ふれあいのまちづくり事業 サービス区分より支出	【概要】地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる事業活動に関する補助金を交付し、小地域の福祉活動を推進しました。 当該地区普通会費納入額の 1 / 3 相当額 〃 賛助会費納入額の 3 / 10 相当額 〃 特別賛助会費納入額の 2 / 10 相当額 【成果】補助金の交付により、地区事業の推進に対し支援することができました。 【課題】一般会費が微増ながら回復傾向にありますが、依然として納入額が減った地区社協が多く、活動費の補助も少ない現状にあります。 【今後の取組】安定した財源確保に併せ、会費を有効に使う手法の検討とともに、地区社協と市社協が一体となり事業の見える化を図ることにより新規の会員を増やしていくことに努めます。また、災害公営住宅入居や防災集団移転等が本格化していることから、より一層住民の理解促進に努めます。 【決算】事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
屋内ゲートボール場の運営	【概要】子どもから高齢者まで、幅広い市民の健康増進及びスポーツ振興を図るため設置運営を行ないました。気仙沼市ゲートボール協会に管理運営を委託しています。 【実績】 207日 延べ 2,582人 【成果】子どもの競技人口を増やすためのきっかけづくりの活動がなされるなど、市民のスポーツ振興の一助となっています。 また、隣接するテニスコート利用者の休憩場所等として、クラブハウスを貸し出すなど、施設の有効活用を進めました。 【今後の取組】ゲートボール競技や関連施設の有効活用を通して、健康増進の一助になるよう、引き続き気仙沼市ゲートボール協会との連携協力を取りながら管理運営に努めます。 【決算】事業活動収入 880,000 円 事業活動支出 883,674 円

	当期資金収支差額 -3,674 円 (前期末支払資金残高から充当)
--	--------------------------------------

3. ボランティアセンターの運営

ボランティア相談・調整等事業	【概要】 ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣やボランティアの育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めました。 【実績】 ボランティア相談 17件 調整 14件 被災者支援関係 災害ボランティア相談・問合せ 13件 生活支援ボランティア相談・問合せ 43件 調整 104件 【成果】 ボランティアの調整・派遣を通して相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めました。 【課題】 活動日直前にボランティア活動の依頼を受けることがあり、調整が難航することがあります。 【今後の取組み】 現行どおりボランティアの育成・啓発の推進に努めます。
ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【決算】 事業活動収入 2,076,551 円 事業活動支出 2,212,924 円 施設整備等支出 374,000 円 その他の活動収入 613,000 円 当期資金収支差額 102,627 円
災害ボランティアセンター 設置運営訓練	【概要】 災害ボランティアセンターを理解し、地域の協力を得て設置運営を的確に行えるよう訓練を行い、災害に強い地域づくりに取り組むことを目的として実施しました。 【実績】 実施日：3月1日 参加人数：34人 【成果】 震災後初の取り組みということで、東日本大震災時の災害ボランティアセンターや地域の状況を振り返り、参加者それぞれが他地域の状況を確認する事ができました。 【課題】 震災時の状況の振り返りに時間を割きすぎ、災害ボランティアセンターではなく、避難所の話題が多く出てしまいました。 【今後の取組】 災害に強い地域づくりの基盤となるよう内容や開催方法検討し、実施します。
ふれあいのまちづくり事業 サービス区分より支出	【決算】 事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
手話入門講座とフォローアップ	【概要】 手話の基本的な知識・技術や聴覚障害者の現状を学ぶことで、

サービス区分より支出	施設整備等支出 374,000 円 その他の活動収入 613,000 円 当期資金収支差額 102,627 円
ボランティアスクール (小中高校生ボランティアスクール) ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【概要】次世代を担う子ども達が災害時に自分達ができる活動を学びながら地域福祉に関する理解を深めるとともに、実際に活動するボランティアとの交流を通して、ボランティア意識の啓発と福祉人材の育成を図りました。 【実績】開催日 2月25日 実施場所 気仙沼市松岩公民館 参加人数 17名 ボランティア 11名 小学生 4名 中学生 2名 【成果】ボランティア交流会と同時に開催することにより、児童、生徒が実際に活動に触れ、地域福祉に関する理解を深めボランティア意識の啓発を行うことができました。 【課題】市内の小・中・高校及び学童保育等に周知をしましたが、実施時期が試験期間と重なったことにより高校からの参加を得ることができませんでした。 【今後の取組】開催する時期の見直しや、学習内容をより身近なテーマにすることにより、児童・生徒がより参加しやすい環境づくりに努めます。 【決算】事業活動収入 2,076,551 円 事業活動支出 2,212,924 円 施設整備等支出 374,000 円 その他の活動収入 613,000 円 当期資金収支差額 102,627 円
ボランティア保険の加入 ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【概要】ボランティアの方々が安心して活動できるよう、ボランティア保険の加入手続きを行いました。 【実績】加入者 1,478人(前年度1,429人) うち、ボランティア保険掛金一部助成を受けた方 730人 (前年度 652人) 【成果】安心安全なボランティア活動をサポートすることができました。 【課題】ボランティア団体においては、各会員へ保険加入の周知を図り、事故発生の際は保険を活用して頂けるよう努めます。 【今後の取組】引き続きボランティア活動希望者へ保険の周知及び加入促進に努めます。 【決算】事業活動収入 2,076,551 円 事業活動支出 2,212,924 円 その他の活動収入 613,000 円 施設整備等支出 374,000 円 当期資金収支差額 102,627 円
ボランティア懇談会	【概要】ボランティア活動実践者を対象に活動の現状や課題等について

ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	て、懇談して意見交換等を行いました。懇談を通して、必要な支援策の検討を行い、本吉地域内のボランティア活動の充実強化を図りました。 【実績】開催日 4月27日 会 場 本吉老人福祉センター 参加者 2名 【成果】懇談会開催により、ボランティアの方々の声や意見などを聴くことができ、今後の具体的な活動やボランティアセンター運営の方向性付けの機会となりました。 【課題】周知不足から参加者が少数になった点は反省事項です。より多くのボランティアに参加してもらえよう、周知方法等の検討が必要です。また、懇談での提案や意見に十分応えきれていないところも多くあり、今後速やかに具体的な取り組みを進めていくことが必要です。また、年2回の開催予定が1回となってしまいました。 【今後の取組】定期的な懇談会を開催し、意見や提案に丁寧に対応しながら活動の充実強化を図っていきます。 【決算】事業活動収入 2,076,551 円 事業活動支出 2,167,682 円 その他の活動収入 613,000 円 施設整備等支出 374,000 円 当期資金収支差額 147,869 円
ワークキャンプ（本吉地域） ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【概要】 地域内の中学生、高校生を対象として地域課題の解決に向けたワークキャンプ（地域についての学習や地域住民との交流活動など）を実施することにより、地域課題を再認識するとともに地域住民と若年層との交流を深めることを目的に、今年度は地域防災をテーマに開催しました。 【実績】開催日 8月5日（金） 会 場 本吉公民館、松岡タウンセンター 参加者 7名 【成果】気仙沼消防署本吉分署や振興会の協力を得て開催することにより、参加した高校生に地域を知ってもらう機会となり、地域との繋がりをつくることができました。また、災害時に高校生ができることや地域の避難所で手伝えることなどを知り理解を深める機会になりました。 【課題】地元高校からの参加はありましたが、中学生の参加がありませんでした。今後は、中学校とも関わりが持てるよう企画や周知で工夫していくことが必要です。 【今後の取組】今回は、地域防災をテーマに開催しましたが、今後、中学生にも興味を持ってもらえる様々な分野での企画を検討し、事業実施を行うことで地域に住む若者と地域をつなぐ機会づくりの充実を図ります。 【決算】事業活動収入 2,076,551 円 事業活動支出 2,167,682 円 その他の活動収入 613,000 円 施設整備等支出 374,000 円

	当期資金収支差額 147,869 円	
本吉地域防災ボランティア 研修	【概要】 住み慣れた地域で安全・安心に過ごすことができるよう、防災の側面から地域の繋がり の充実強化を図ることを目的に開催しました。 【実績】 開催日 10月18日（火） 会 場 本吉公民館 参加者 15名 【成果】 県社協や振興会の協力を得て開催することにより、県内の災害時の活動事例や地域事例を知ってもらう機会となり、グループワークでは今後の事業に繋げられる意見を聞く機会となりました。 【課題】 事業の時間配分に余裕がなく、話が盛り上がったところで終了となってしまう、グループワークの内容を十分にまとめきれないところがありました。 【今後の取組】 時間配分や進行など、企画段階から十分に検討を行い、グループワーク等で参加された方々の意見や思いを出し切れる運営に努め、その意見や思いを次に活かす事業展開となるよう取り組みを進めます。	
ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【決算】 事業活動収入 2,076,551 円 その他の活動収入 613,000 円	事業活動支出 2,167,682 円 施設整備等支出 374,000 円 当期資金収支差額 147,869 円

4. 福祉教育

事業名	内 容
福祉教育活動費補助金交付 事業	【概要】 気仙沼市内の小中高等学校に対し、継続した福祉教育・ボランティア学習の支援を行うため、一校につき年額 15,000 円を上限に補助金の交付を行いました。 【実績】 補助校数：小学校 5校（前年度 6校） 中学校 2校（前年度 1校） 高等学校 1校（前年度 2校） 交付金額：120,000 円（前年度 135,000 円） 【成果】 市内の小中高等学校に周知をしたところ、8校からの申込みがありました。申込み内容としては、主に高齢者福祉と障害者福祉に狙いを絞ったものが多いように見受けられました。 【課題】 学校の統廃合等により申請数が減少傾向にあります。 【今後の取組】 補助金を活用し行われた事業の例などを提示し、補助金を利用しやすい環境整備に努めるとともに、学校側からも意見を頂戴して補助金額の見直しなどを併せて行います。
ボランティア活動育成事業	【決算】 事業活動収入 2,076,551 円 事業活動支出 2,212,924 円

サービス区分より支出	その他の活動収入 613,000 円 施設整備等支出 374,000 円 当期資金収支差額 102,627 円
行事参加協力調整事業 (高校生ボランティア等の活動調整) ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【概要】市内の福祉施設等からボランティアの派遣を依頼された際に、市内の高等学校及びボランティア団体の協力を得てボランティアを募りました。 【実績】 気仙沼支援学校 運動会 11名 2校 (前年度 10名 2校) 宮城県難病支援センター 医療講演会 5名 (ボランティアフラワーメイト) 八日町商店街振興会 復活！お日市まつり 1日目 17名 5校 2日目 23名 5校 松峰園 松峰祭 9名 2校 (前年度 10名 3校) 気仙沼支援学校 学校祭 18名 3校 (前年度 23名 5校) 【成果】ボランティア活動について円滑に調整ができました。 【課題】高校生ボランティアの参加協力者の減少や行事直前になってからの依頼の増加があります。 【今後の取組】少子化及び学校行事との兼ね合いから高校生のボランティア協力が年々減少しています。他事業と連携し、広く市民へボランティアについての理解を深めるように努めます。 【決算】事業活動収入 2,076,551 円 事業活動支出 2,212,924 円 その他の活動収入 613,000 円 施設整備等支出 374,000 円 当期資金収支差額 102,627 円
24時間テレビ街頭募金協力	【概要】24時間チャリティ募金活動を通して、幅広い年代層からの募金への理解を図りました。 【実績】 開催日 8月28日 募金場所 イオン気仙沼店 スーパー片浜屋はまなす店 協力者 高校生ボランティア 33名 (市内 3高校) 【成果】市民の方々の募金へのご理解とご協力を頂きました。 【課題】ボランティア参加者への適切な休憩・水分補給の徹底による健康管理への配慮が必要です。 【今後の取組】幅広い年代層からの募金への理解を図ります。
福祉教育・企業・団体への職員派遣事業	【概要】学校からの福祉教育体験の依頼に基づき、社協職員等の派遣を行いました。実施方法については、先方の要望に応じて内容を相談の上で行いました。 【実績】 依頼団体：小学校 延べ10回 (7校) : 中学校 延べ 6回 (2校) 内 容：福祉講話、高齢者体験、車いす体験、視覚障害体験、点字体験、手話等の聴覚障害体験 対 応：社協職員、他団体職員、ボランティア

	【成果】高齢者や障害についての理解を深め、福祉意識の向上に繋がる機会を提供することができました。 【課題】体験の提供から当事者との交流や実践に繋げていくこと、講師や協力者の確保については引き続きの課題となっています。 【今後の取組】体験前後の学習計画等も考慮できるよう、実施企画検討の相談時に学校側との丁寧な支援を心がけます。また、あらかじめ提供メニューが提示できるよう内部で調整を進めます。
敬老作文募集事業 児童青少年福祉活動事業サービス区分より支出	【概要】敬老をテーマにした作文に取り組むことで児童が高齢者への理解を深め、敬老の心を培う事を目的に市内の小学校に作文を募集しました。元教員、児童福祉関係者等9名の審査によって、各学年最優秀1点、優秀3点を選びました。 また、受賞作品に関しては、社協だよりの他、学校や企業の協力を得て、地元新聞への掲載やK-ネットにおいて受賞児童が作文朗読出演をしました。 【実績】 応募学校数：市内17校 応募総数（学校への提出作品）：153点 各学校からの選考作品数（審査対象作品）：66点 受賞作品総数：24点 【成果】身近な高齢者へ対する尊敬やいたわりの気持ちを作文にすることで、改めて高齢者に対する理解を促すことが出来ました。 【課題】審査会実施日が適切であるか検討する必要があります。 【今後の取組】児童が高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培う一助となるよう事業を継続します。 【決算】事業活動収入 637,000円 事業活動支出 626,190円 当期資金収支差額 10,810円

5. 資金貸付等事業

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	【概要】資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう資金の貸付けや相談支援を行いました。 また、滞納者に対しては宮城県社会福祉協議会と共同で督促相談会を実施し、借受世帯の実態把握と償還への働き掛けを行いました。 【総貸付件数】 79件 37,085,570円 【実績】 福祉資金 2件 1,780,000円 緊急小口資金 4件 300,000円 総合支援資金 1件 390,000円 貸付調査委員会の開催 3回

	【成果】担当民生委員と連携しながら世帯の実態把握に努め、償還への働きかけを行うことができました。また、自立相談支援事業所「ひありんく気仙沼」と連携しながら、世帯の生活再建に向けた支援を行うことができました。 【課題】債務関係者も含めた長期滞納者や県外転出者への対応が課題となっています。 【今後の取組】宮城県社協や民生委員と連携し生活実態の把握に努めるとともに償還指導に一層努めます。 【決算額】事業活動収入 6,006,340 円 事業活動支出 7,617,598 円 その他の活動収入 2,400,000 円 その他の活動支出 444,276 円 当期資金収支差額 344,466 円
生活福祉資金貸付金督促相談会	【概要】宮城県社会福祉協議会と共同で償還滞納者を対象に督促相談会を実施し、世帯の実態把握と償還への働きかけを行いました。 【開催日】平成28年8月18日（木） 対象者11名 【課題】面談に出席せず連絡も取れないことから、状況把握ができない借受者の対応が課題となっています。 【成果】世帯の状況把握と滞納理由について、借受人、県社協、市社協の三者で確認することができました。また、状況に応じ償還計画の変更を行うなど、償還への働きかけを行うことができました。 【今後の取組】宮城県社会福祉協議会と連携し、今後も定期的に相談会を実施し償還への働きかけを行います。
生活安定資金貸付事業	【概要】低所得世帯に対し、緊急に必要な生活資金の貸付を行うことにより、その世帯の自立更生を援助し、生活の安定に資することを目的とし、小口の貸付けを行いました。また、滞納が続いていた借受人については、訪問等を行い生活実態の把握に努めるとともに償還への働きかけを行いました。 【総貸付件数】 20件 691,000円 【実績】貸付件数 3件 150,000円 【成果】緊急に貸付の必要が生じた世帯や次の支援までの繋ぎとして小口の資金を貸付することで生活の安定を図ることができました。 【課題】借受世帯の中には、生活が落ち着かず償還まで至らない世帯が多く、生活再建に向けた支援ができない世帯も出てきています。また、連帯保証人を設定することが難しく申込みまで至らないケースもありました。 【今後の取組】今後も定期的に通知を発送し、民生委員と連携しながら借受世帯の生活実態把握に努め自立に向けた支援に取り組みます。また、要件を満たさない世帯については、自立相談支援機関に繋ぐなど世帯の自立支援に努めます。 【決算額】事業活動収入 194,134 円 事業活動支出 155,658 円

	その他の活動収入 5,658 円	その他の活動支出 134 円
	当期資金収支差額	44,000 円

(震災対応事業)

生活復興支援資金貸付事業	【概要】東日本大震災により被災した低所得世帯に対して、当面の生活費や転居費用、住宅補修費等の必要な経費を貸付するものです。 ほとんどの借受人が償還開始となっていることから、生活状況の把握と償還指導を行いました。 【総貸付件数】49件 32,770,880円 【実績】貸付件数 なし 【課題】まだ償還期限内ではありますが、償還に遅れが生じている世帯があるため、定期的に生活の実態把握に努め適宜必要な支援と償還への働きかけを行う必要があります。 【今後の取組】民生委員と連携し世帯の生活状況を把握するとともに、自立相談支援事業所等関係機関と連携しながら償還と世帯の自立に向け支援します。
特例緊急小口資金貸付事業	【概要】東日本大震災により、被災され当面の生活費を必要とする世帯に対し、震災対応の特例措置として緊急小口資金の貸付を行いました。(貸付は平成23年5月を以て終了しています。) 現在は、すでに償還期限が経過していることから、償還滞納となっている世帯に対し、電話や自宅訪問を行い生活状況の把握と償還指導を行いました。 【総貸付件数】265件 29,994,230円 【成果】積極的に償還への働きかけを行ったことにより、償還に繋がった世帯も多く、また償還完了となったケースもありました。 【課題】転居された方や滞納が続いている借受人と連絡が取れないことが多くなっています。 【今後の取組】宮城県社会福祉協議会と連携しながら、転居先の調査を行うとともに、引き続き電話や自宅訪問を行いながら生活実態の把握に努める等償還に繋がるよう働き掛けを行い償還指導対策の強化に努めます。

6. 援護活動

事業名	内 容
災害見舞金等贈呈事業	【概要】住宅火災に対し、世帯状況により災害見舞金の贈呈を行いました。 【実績】 2 件 【課題】年度内での対応ができたものの、社会福祉事務所からの情報を基に贈呈対応をしていることから、発災から贈呈までの期間が2か月程度となっていました。 【今後の取組】より迅速に見舞金として対応できるよう実施内容の検討に努めます。
福祉育成援助活動事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 1,517,067 円 事業活動支出 2,864,656 円 当期資金収支差額 -1,347,589 円 (前期末支払資金残高から充当)
歳末たけあき募金配分事業	【概要】住み慣れた地域で暮らしていくために必要な様々な支えあい活動が展開できるよう、地区社協をはじめとした地域活動などへ配分しました。 【実績】配分委員会 : 平成28年12月16日開催 平成29年3月8日開催 収入額合計 : 7,366,662 円 (内訳:募金 4,466,662 円、市補助金 2,900,000 円) 【成果】在宅長期寝たきり者と長期入院者へ配分したほか、地区社会福祉協議会が実施する福祉活動への助成配分、障害福祉施設等への活動助成配分と新入学児童への安心・安全の支援へ配分しました。さらに、新しく子育て支援団体等への活動助成を実施し、子育て児童分野への関わりも意識的に支援することに努めました。 【課題】個別対象者への配分については、在宅長期寝たきり者と長期入院者への見舞金配分だけとなりました。民生委員児童委員の協力による世帯把握を実施しましたが、生活困窮世帯の情報をすべて把握することが困難な状況です。 また、震災後の平成25年度配分以降に、事業実施配分としていたものの一部が未実施により積み残しされていた点について指摘を受けたことから、繰越金の活用策について改めて配分委員会を開催し、平成29年度から計画的に解消していくことを確認しました。 【今後の取組】地区社協会長等より地域の状況を確認しながら、募金趣旨に沿えるような配分を検討します。 【決算】事業活動収入 7,366,662 円 事業活動支出 6,744,867 円 当期資金収支差額 621,795 円
交通・海難等遺児に対する 就学支援費の支給事業	【概要】交通事故・海難事故・労働災害及び病死（不慮の事故を含む）により、扶養していた父母の一方又は双方が死亡した満18歳以下の高

	校在学までの者に、民生委員を通じ就学支援費を支給しました。 【実績】遺児家庭 32世帯 遺児数 48名 贈呈金額 420,000円 高校生 10,000円×27名 中学生 8,000円×15名 小学生 5,000円×6名 【成果】遺児とその家族との対面での支援を通じ、相談しやすい環境づくりができました。 【課題】民生委員・児童委員の改選等により、対象児童がいる地区において、民生委員・児童委員の欠員が出た場合の支援のあり方について検討する必要があります。 【今後の取組】当面は現行通り支援を行います。 【決算】事業活動収入 30,000円 事業活動支出 474,496円 その他の活動収入 450,000円 当期資金収支差額 5,504円
--	--

7. 生活支援・障害福祉事業

事業名	内 容
福祉サービス料援助事業 気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター（まもりーぶ気仙沼・南三陸）	【概要】認知症、精神障害、知的障害者等、何らかの理由で判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域で生活できるよう日常的な金銭・書類の管理、訪問を通じて日常生活の見守りを行い、個人の権利を擁護しながら、日常的な生活の自立支援対策として事業を実施してきました。 【実績】利用者58名（うち認知症21名、知的障害15名、精神障害14名、その他8名） 【成果】支援計画に基づき、日常的な金銭・書類管理をしながら、定期的に訪問することで、地域での生活を支援することができました。また、証書等については、市内金融機関の貸金庫に預けることで、財産の保全ができました。 【課題】判断能力が低下したことで、成年後見制度に繋がるケースが増えていきます。また、親族からのサポートが困難なケースもあり、より関係機関との調整に慎重を期するケースが増えていきます。 【決算額】事業活動収入 7,596,447円 事業活動支出 7,576,477円 当期資金収支差額 19,970円
コープフードバンク事業	【概要】みやぎ生協との協定により飲食物の提供を受け、緊急時の生活支援の一助として生活困窮者への食料支援を行いました。主に、本会における資金貸付相談者やまもりーぶ事業利用者のほか、行政等から依頼があった困窮者へも食料支援を行いました。 【実績】41件

	【成果】何らかの理由で一時的に生活困窮となっている世帯に対し、食料を提供することで生活の維持が可能となり、他の支援までの繋ぎとなっています。 【課題】在庫の状況により提供できる食料の数量に差異が生じているため、常に一定の食料を確保しておくように努める必要があります。 【今後の取組】引き続き必要に応じて在庫を調整し、緊急時の支援に対応できるよう努めます。
視覚障害者ハイキングの実施 ふれあいのまちづくり事業サービス区分	【概要】視覚障害者の方々とのハイキングを実施していましたが、当事者、ボランティア共に高齢化が進んでおり、事業趣旨と内容が伴わなくなっていたこと。また、9月にガイドヘルパー（ボランティア）の養成講座を開催したこともあり、受講者と当事者の顔合わせも兼ねながら、広く参加者を募り相互理解を深めることを目的として、ハイキングに代えて交流会を実施しました。 【実績】 開催日：9月25日（日） 場 所：気仙沼中央公民館 3階 会議室 参加人数：70名 視覚障害者：15名、ボランティア等：37名 協力団体：5団体11名 【成果】視覚障害者に関しては、ハイキング開催時と変わらない参加人数でしたが、ガイドヘルパー等ボランティアや民生委員・児童委員、家族の参加が当事者の倍以上ありました。交流に加え、災害時の避難行動についての講話や便利グッズの紹介を行ったことで、相互理解を深める一助となりました。 【課題】今後も継続に向けた事業内容を検討する必要があります。 【今後の取組】事業趣旨、実施方法の見直しを行いながら、交流事業を継続します。 【決算】事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
ガイドヘルパー派遣事業	【概要】視覚障害者の社会参加を支援し、視覚障害者の社会生活範囲の拡大と福祉の増進を図ることを目的として、視覚障害者介添人の派遣を行いました。 【実績】活動延人数 45人 (前年度 51人) 依 頼 件 数 39件 実人数7人・2団体 (前年度 46件) 【成果】個人利用では通院、団体利用では会議や行事などを中心に利用がありました。 【課題】ガイドヘルパーの活動者数が年々減ってきており、依頼に対応できない可能性があります。 【今後の取組】ガイドヘルパー養成講座を開催し、活動者の増を図ります。

	【決算】事業活動収入 372,000 円 事業活動支出 212,787 円 当期資金収支差額 159,213 円
ガイドボランティア養成講座	【概要】視覚障害者の外出を支援するガイドボランティアの育成を目的として開催しました 【実績】開催日：9月11日（日） 場 所：松岩公民館 視聴覚室 参加者：14名 【成果】ガイド（手引き）方法の学習だけでなく、視覚からの情報取得をサポートする補助具等の紹介やお試し体験も取り入れながら、視覚障害への理解を深めていただくことができました。 【課題】養成講座として実施しましたが、参加者からガイドボランティア活動の登録までには至りませんでした。 【今後の取り組み】ガイドボランティアの登録に繋がるような養成講座の企画を検討します。
ふれあいのまちづくり事業 サービス区分	【決算】事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
録音サービス事業	【概要】地域のボランティアである「朗読奉仕あいの会」や「朗読奉仕会」・「響高校生徒」の協力を得て、「広報けせんぬま」・「社協だより」等を朗読録音し、市内の視覚障害者の方へ送付しました。 【実績】発行回数 気仙沼 24回 利用者数 23人 本吉 24回 利用人数 2人 【成果】視覚障害者の方へ、スムーズな情報提供が出来ました。 【課題】カセットテープからCDへの移行が難航しており、デジタル録音図書にとらわれない方法の検討が必要です。また、常に利用者が聞きやすいテープの作成を心掛けることが必要です。 【今後の取組】継続して情報の提供を行います。また、デジタル録音図書等の勉強会の充実を図るとともに、より聞きやすいテープの作成に努めます。
ふれあいのまちづくり事業 サービス区分	【決算】事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
点訳サービス事業	【概要】市内のボランティアの協力を得て、依頼を受けた資料を点訳しました。 【実績】点訳依頼件数 1件（前年度 1件） 【成果】点訳資料の作成により、視覚に障がいのある方へ円滑な情報の提供を図ることができました。 【課題】現在、市内に点訳ボランティアが1名しかおらず、安定したサービス提供が難しい状況にあります。

ふれあいのまちづくり事業 サービス区分	【今後の取組】今後とも継続して情報提供を行うとともに、点訳ボランティアの育成に努めます。 【決算】事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
------------------------	---